平成 24 年 9 月 20 日

各　　位

ＳＥホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長　速　水　浩　二
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９４７８）
問い合わせ先
執行役員経営企画部部長　松　村　真　一
ＴＥＬ　０３-５３６２-３７００

【翔泳社】『ソーシャルエコノミー　和をしかける経済』を刊行

当社連結子会社である株式会社翔泳社（本社：東京都新宿区、代表取締役：佐々木幹夫）は、阿久津聡、谷内宏行、金田育子、鷲尾恒平著、野中郁次郎解説、『ソーシャルエコノミー　和をしかける経済』を 2012 年 9 月 18 日に刊行いたしました（A5 版並製、292 ページ、1,800 円＋税）。



「世間」は消失した。あらゆるビジネスは、今後
「新しいコミュニティ」にステージを移す必要がある。
村上龍（本書オビ推薦より）

◆本書の概要

Facebook をはじめとする各種ソーシャルメディアサービスが急速に浸透するなか、欧米では人と人がつながることにより生まれる経済価値が注目をあびている。日本はソーシャルメディア後進国と言われながらも、ソーシャルメディア時代の価値観とそこに紐づく消費は大きな変革期へと来ている。本書では、経済価値をも変えてしまう、この大きなうねりを「ソーシャルエコノミー」と呼び、そのメカニズムを明らかにする。AKB48、B-1 グランプリ、ニコニコ超会議などの事例をひもとき、日本らしい「和」、そして人の輪が和となる仕掛けとはどのような施策が考えられるのか、経済価値の過渡期を浮き彫りにする。

ソーシャルエコノミーの基盤となるのは、ソーシャルメディアによって展開可能となった「同好コミュニティ」であり、その活性化には日本人が昔から大切にしてきた「和」が不可欠となる。本書では、伝統的な日本の共同体であるムラを維持する手段として行なわれてきた「宴」や「祭り」をエンターテインメント的に発展させたコンセプトを提示し、コミュニティを創り・育て・盛り上げ、ソーシャルエコノミーを「発動」させるノウハウを提案する。

◆著者紹介

・阿久津 聡（あくつ さとし）

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。一橋大学商学部卒。同大学大学院商学修士。カリフォルニア大学バークレー校、経営工学修士（MS）、経営学博士（Ph.D.）。同校研究員、一橋大学商学部専任講師などを経て、現職。専門はマーケティング、消費者心理学、行動経済学。

主な著書に、『知識経営実践論』（共編著、白桃書房）、『ブランド戦略シナリオ』（共著、ダイヤモンド社）などがある。

・谷内宏行（やち ひろゆき）

株式会社電通ストラテジック・プランナー。1993 年、電通入社。

1997 年より携帯電話領域でのプロジェクト・リーダーを務める。携帯と親和性の高い若者研究にも取り組み、若者をターゲットとするキャンペーンやソーシャルメディア活用に従事中。現在「電通リア研」を主催。【受賞に携わった案件】ADC 賞、他：トヨタ「ReBORN」（ストラテジック・プランナー） ACC 賞、他：資生堂「FOGBAR」（ストラテジック・プランナー）など。

・金田育子（かねだ いくこ）

株式会社電通ストラテジック・プランナー。1993 年、電通入社。

セールスプロモーション、メディア、インタラクティブ、戦略 PR のプランニング現場を経て、現在は、統合コミュニケーション・プランニングに従事。おもな開発実績として、コンタクトポイント・マネジメント（2002 年）、ソーシャルメディア時代の消費行動モデル SIPS（2010 年）、トリプルメディア対応のマーケティングダッシュボード（2011 年）。

・鷲尾恒平（わしお こうへい）

株式会社電通ストラテジック・プランナー。2002 年、電通入社。

アカウント・プランニング・ソリューション局に配属。ブランディングやメディアプラニングのメソッド開発・データベースシステムの構築に携わりながら、それらを活用したクライアント業務に従事。2012 年より第４クリエーティブ・プランニング局。

◆目次

巻頭 4C：秋元康さん、AKB48、ニコニコ超会議、B-1 グランプリ、ソーシャルエコノミーの予言者たちを写真とともに紹介。ソーシャルエコノミー発動のモデルを図解。

序章 和のソーシャル
第 1 章 新経済へのヒフ感覚
第 2 章 ソーシャルエコノミーの時代
≪コラム≫ソーシャルエコノミーの予言者たち
小林弘人／佐藤尚之／斉藤 徹／宇野常寛／鈴木謙介／アルビン・トフラー
第 3 章 コミュニティづくりの大革命
第 4 章 コミュニティを和にする技術
第 5 章 「祭りのハタ」への高まり方
第 6 章 ソーシャルエコノミー・クエスト――頭に地図を広げよう
終章「和」のなる方へ
解説　野中郁次郎

◆『ソーシャルエコノミー』のご案内

翔泳社の本：　http://books.shoeisha.co.jp/book/b101854.html

Amazon：　http://www.amazon.co.jp/dp/4798128120/

◆本書に関するお問い合わせ

株式会社翔泳社 編集部 外山（book3@shoeisha.co.jp）

TEL： 03-5362-3855（編集）、03-5362-3810（営業）

■IR に関するお問い合わせ

SE ホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

経営企画部経営企画課

TEL： 03-5362-3700

以上